

九州の新電力ナンワエナジーが SDGs の取り組みを発表！

電気小売業を行う株式会社ナンワエナジー（本社：鹿児島市東開町、代表取締役社長 川畑佑樹 以下：弊社 <https://e-nanwa.co.jp/>）は、2015年に「国連持続可能な開発サミット」で採択された「持続可能な開発目標（SDGs）」に賛同し、SDGsの達成に向けた取り組みを発表いたします。

弊社は、お客様のニーズに応える環境保全サービスの提供及び事業活動の展開を通じて、SDGsの達成に貢献してまいります。

SDGs 公式 Web サイト <https://www.un.org/sustainabledevelopment>

弊社では、「SDGs」下記6つの目標達成に向けた取り組みを実施してまいります。



ジェンダー平等を達成し、すべての女性及び女児のエンパワメントを行う



すべての人々の、安価かつ信頼できる持続可能な近代的なエネルギーへのアクセスを確保する



強靱(レジリエント)なインフラ構築、包摂的かつ持続可能な産業化の促進及びイノベーションの推進を図る



包摂的で安全かつ強靱(レジリエント)で持続可能な都市及び人間居住を実現する



気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策を講じる



持続可能な開発のための実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する

■ ナンワエナジーの SDGs 取り組みについて

<取り組み 1>



● 男女分け隔てなく活躍できる職場

あらゆる場所におけるあらゆる形態の男女差別を徹底的になくし、あらゆるレベルの意思決定において男女共に完全かつ効果的に参画できる機会や平等なリーダーシップの機会を確保しております。

<取り組み 2>



● 再生可能エネルギー比率の高い電力の供給

地球温暖化防止の観点から二酸化炭素排出量の削減に貢献するため、弊社や地域で作られた太陽光発電などの再生可能エネルギー（以下：再エネ）をもとに、非化石証書を組み合わせた実質再エネ 100%の電力を供給しております。またその一環で、実質再エネ 100%の電気料金プラン「プラス eco」をご用意しております。

● 環境に配慮した持続可能な社会の構築

蓄電池等の導入を促進し、エネルギー供給源を分散化することで電力レジリエンスの向上を図っております。それに加え、分散型エネルギーリソースを遠隔・統御することでエネルギーの需給バランス調整を行い、再エネの導入を拡大することで、持続可能かつ強靱（レジリエント）な街づくりに貢献しております。

<取り組み 3>



● 地域の脱炭素化に取り組んでいる

鹿児島市域における二酸化炭素排出量実質ゼロの実現に貢献することを目的とし、持続可能な開発のための政策の一貫性を強化するため、鹿児島市と「再生可能エネルギーの普及に向けた連携と協力に関する協定」を締結いたしました。

今後も弊社は、エネルギー事業発展において社会や環境に配慮した企業を目指し、持続可能な社会に貢献してまいります。